

令和5年度札幌市地域福祉振興助成金運営審査会 会議録

1 日時

令和5年8月8日（火）午後1：30～午後2：40

2 場所

札幌市役所本庁舎12階1・2号会議室

3 議題

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 令和5年度の助成案の審議

4 出席状況

- (1) 委員8名
大内 高雄 委員長、中村 正人 副委員長、相馬 毅 委員、増田 智子委員、
小竹 徹 委員、渡辺 恵美子 委員、濱谷 信子 委員、岡田 直人 委員
- (2) 事務局（保健福祉局）4名
東館地域生活支援担当部長、高橋地域福祉・生活支援課長、
横山福祉活動推進担当係長、高橋
- (3) 傍聴者0名

5 議事の概要

- (1) 活動費助成の審査について
 - 事務局から活動費助成の助成案の説明を受け、審査を行った。
 - 主な審議内容は以下のとおり。
 - ・ 「認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル北海道事務局」の資材購入費に含まれている講師謝礼について、単発事業助成では要綱に支給対象である旨の記載があるが、活動費助成では要綱に記載がない。支給対象経費として計上して問題ないか。
⇒ 過去の他団体からの申請でも、支給対象経費として認めている。要綱に

記載がないことについては、今後、要綱の改定等も含めて検討させていただきたい。

- ・ 「認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル北海道事務局」の支出予算として250万円と記載があるが、内訳などは把握しているか。

⇒ 正職員の人件費として180万円、事務所賃料として10万円、セミナーに参加した子どもに対するポイント付与（生活必需品等購入代）の合計が60万円となっている。

- ・ 講師の選び方について、登録された講師に依頼をしているか。札幌市から講師の紹介を行っているか。

⇒ 札幌市からの紹介は行っておらず、団体独自で講師を依頼している。講師の所属団体等については把握していない。

- 審査の結果、事務局の助成案のとおり助成することとなった。

(2) 単発事業助成の審査について

- 事務局から活動費助成の助成案の説明を受け、審査を行った。

- 主な審議内容は以下のとおり。

- ・ 「札幌みんなの会」の30周年記念イベントについて、記念品を作成することだが、どのようなものを想定しているのか。

⇒ 「札幌みんなの会」の会員に絵を書いてもらい、クリアファイルに印刷する予定とのこと。

- 審査の結果、事務局の助成案のとおり助成することとなった。

(3) 立ち上げ支援事業助成の審査について

- 事務局から活動費助成の助成案の説明を受け、審査を行った。

- 主な審議内容は以下のとおり。

- ・ 「じゃがいもの会」について、食事会参加者から参加費等は徴収しているか。

⇒ 大人と高校生から300円、小中学生からは100円を参加費として徴収している。

- 審査の結果、事務局の助成案のとおり助成することとなった。

(4) その他

- ・ 申請したが助成金の支給が認められなかった団体はあるか

- ⇒ 他制度を利用するため辞退した団体はある、申請内容について認められなかった事例はあるが、団体そのものが認められなかった事例は確認した限りないと思われる
- ・ 本助成金の原資となっている地域福祉振興基金の残額について、現在どれくらい残っていて今後何年ほど持続可能なのか

⇒ 昨年の段階で 10 億円程度、現状の正確な金額については、今、手元に数値を持ち合わせていない。

※事務局追記：令和 4 年度末時点の基金残額は 1,140,586,135 円

今後の残額及び持続可能期間については、基金への寄付の動向によっても変わってくる。昨年度は大口の寄付をいただき、基金残額の目減りは鈍化した。現在のペースで消費が進むと将来的には枯渇すると思われる。

今後は他事業も含めて検討が必要と思われるが、少なくとも来年再来年に枯渇することになるわけではない。